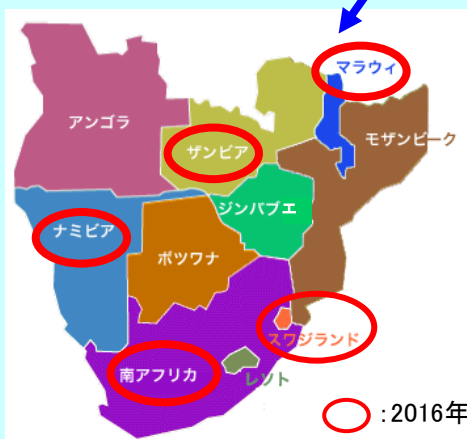
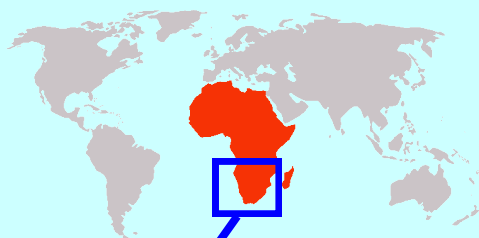


支援対象国

南部アフリカ地域

HIV/AIDSを取り巻く環境は過去15年間で大きく変化していますか？国連合同エイズ計画(UNAIDS)(2015年)によれば、HIVの感染者数は世界で約3,670万人、そのうちサブサハラアフリカの感染者数が約66%を占めると言われていて、世界で最もHIV/AIDSの影響を受けている地域と言えます。

日赤の南部アフリカ地域への支援は2003年のジンバブエに始まり、現在までにアンゴラを除く9カ国を支援してきました。2016年度は特にニーズの高いナミビア、スワジランド、マラウイ、南アフリカ、ザンビアの5カ国を支援します。



○: 2016年度支援対象国

これまでのご支援、誠にありがとうございます。
赤十字の活動は皆さまからのご寄付に支えられています。

さらなるご協力を募集しています！

海外たすけあいキャンペーン

世界の紛争や自然災害、飢餓、病気などで苦しんでいる人びとを支援するため、日赤とNHKは1983年から毎年「NHK海外たすけあい」募金キャンペーンを実施しています。

海外たすけあいキャンペーン
毎年12月1日～12月25日

海外救援金

大規模な紛争や災害により甚大な被害が発生したとき、犠牲者・被災者支援のため、救援金を募集しています。

海外たすけあいキャンペーン報告書、
海外救援金募集状況はこちら



活動資金

国際活動を含む日赤全体の活動を支える活動資金も募集しています。<http://www.jrc.or.jp/contribute/>

企業の方へ

ご希望の事業をご支援いただくことが可能です。
詳細は下記の連絡先までお問合せ下さい。

もっと知りたい方は・・・

赤十字国際ニュースにご登録ください

大きな紛争や災害から、スポットライトの当たっていない人道危機まで、様々な対応を行う赤十字の活動を発信中！

【定期購読】

まぐまぐ登録画面よりメールアドレスをご登録ください。
毎週金曜日に赤十字国際ニュースをお届けします。



まぐまぐ登録画面

URL <http://goo.gl/UeRLTU>

〒105-8521 東京都港区芝大門1-1-3

日本赤十字社 <http://www.jrc.or.jp>

TEL: 03-3437-7089 (国際部 開発協力) 2016年12月作成

南部アフリカ地域 感染症対策事業



日赤 南部アフリカ 感染症対策

検索



南部アフリカでの感染症対策って どんなことをしているの？

HIVの感染経路の要因のひとつが母子間感染です。母子間感染で出生時にすでに感染している子どもいれば、出生時に感染を免れても、幼いうちに両親をAIDSで亡くしてしまう子どももいます。同時に、働き盛りの労働人口がAIDSによって失われることは、家庭に、そして社会に、深刻な影響を与えます。日赤は、以下の活動に協力しています。



① 感染症の拡大の予防

診療所の建設や運営を支援したり、HIV・結核検査やカウンセリング・治療の機会を提供します。また、避妊具の配付、安全な性交渉や割礼について啓発活動を行うことによって、感染症に対する住民の意識を高めます。

② HIV孤児に対する支援



HIV孤児の小学生に対し、制服・文具・毛布・食糧などを支給し、他の子どもたちと同じように学校に通う機会を提供します。

③ 栄養状態や生活環境の改善



感染者やその家族に対し家庭菜園のための農具や家畜を提供し、彼らが自ら食糧を生産できるように支援します。余剰作物や繁殖した家畜を売ることによって、生計支援にも繋がります。また脆弱な子どもの家庭に対し、簡易な住居を建設するための資材や労働力を提供します。

④ 赤十字組織強化



活動を支える赤十字ボランティアと職員的能力を強化するために必要な研修や環境整備をおこなっています。

事業概要

- 事業名：南部アフリカ地域感染症対策事業
- 期間：中長期的支援を予定していますが、毎年、支援対象国を見直します
- 2016年度支援対象国：ナミビア、スワジランド、マラウイ、南アフリカ、ザンビア

HIV孤児として支援を受ける高校生からのメッセージ



元気に生活している
モコイジョさん

母親をHIVで亡くしました。私自身もHIVに感染しています。でも、赤十字の支援のおかげで、治療を受けて元気に生活しています。今は高校にも通っていて、成績もトップです。将来の夢は医者になること。病気で困っている人を助けたいです。

子どもの自尊心と親の自信を醸成するために ～ヒーローブックの作成～



各学校から選ばれたキッズクラブの子どもたちが、自分の体験や親への尊敬の気持ちなどをまとめて本にする活動です。子どもの自尊心だけでなく、それを見る親の自信の醸成にもつながっています。



*1 グラニーズクラブ 直訳は「おばちゃんクラブ」。40～50代の男女で組織され、片親世帯や孤児の世話をするグループ

*2 ピアエデュケイター 親でもない教師でもない同世代の仲間(ピア)が対等な立場で伝え、共に学び合うピアエデュケーションにおいて、伝える側の同世代の仲間(ピア)

5カ国赤十字社及び連盟南部アフリカ 地域事務所への支援内容



ナミビア赤十字社



キッズクラブの創設、小学校に制服・毛布・食糧の配付、住居の建設、家庭菜園の支援



スワジランド赤十字社



クリニックの運営(HIV検査、カウンセリング、HIV/AIDSや結核の治療、食糧の支給、啓蒙活動)、伝統的治療師への研修



マラウイ赤十字社



託児所の運営支援、食糧の配付、HIV陽性者で組織されたサポートグループへの家畜の提供、地域住民への啓発活動、グラニーズクラブ*1の支援



南アフリカ赤十字社



HIVや結核の検査、避妊具の配付、割礼に関する啓発活動



ザンビア赤十字社



小学校におけるHIV教育(ピアエデュケイター*2の育成、HIVに関する寸劇グループの形成)、HIV孤児への家庭訪問



連盟南部アフリカ地域事務所

各国赤十字社の組織強化や各国赤十字社間の調整